

NPO法人

日本エコクラブ

『童謡・民話の里づくりプロジェクト』

童謡・民話の里作りプロジェクト
(プロジェクトリーダー)

寺岡大悟

1. コンセプト

NPO法人日本エコクラブ協力のもと、童謡【夕焼け小焼け】の生まれた東京都八王子市恩方を中心として、童謡・民話を使った地域活性化を行う。

また、将来的には【童謡・民話】をキーワードとして、全国のコミュニティ同士のネットワーク化を目指す。

2. 主要メンバー

(中心アーティスト)

・寺岡大悟(音楽家・ピアノ)

(協力アーティスト)

・弾真空(音楽家・尺八)・馬場雅樹(シンガー)

※ 現在、詩人・画家・陶芸作家・馬頭琴奏者・二胡奏者・ヴィオリラ奏者・シンガーなどへも参加協力を要請中。

(協力)

・NPO法人日本エコクラブ・恩方一村逸品研究所

・八王子市立恩方第二小学校・八王子クラッセアツレバーレ

3. 『童謡』の種類

(1) 子供たちが集団的に生み出し、伝承してきたわらべ歌(=自然童謡、伝承童謡)

(2) 大人が子供に向けて創作した芸術味豊かな歌謡(=創作童謡、文学童謡)現在ではアニメソング・子供の歌う叙情歌なども含めて、童謡と呼ぶことも多い。

(3) 子供たちが書いた児童詩

4. 活動実績

(1) 楽曲『醍醐の里』制作

特定非営利活動法人日本エコクラブ代表の尾崎正道氏が、このプロジェクトの舞台である八王子市恩方醍醐での暮らしの中で、中学時代に作詞した作品に、音楽家寺岡大悟が曲を付けた。

この楽曲を、2010年2月10日に、八王子クラッセアツレバーレの生徒が、卒業演奏会にて演奏。2010年6月10日に、八王子市立恩方第二小学校の児童が、開校記念日のコンサートにて演奏。『夕焼け小焼けの里、歌に』ということで、2010年9月17日の朝日新聞(東京版/朝刊)にて掲載された。

(2)『恩方第二小学校の歌』制作

恩方第二小学校の児童に『私たちの学校』ということのをテーマに児童みんなで協力して作詞をし、音楽家寺岡大悟が曲を付けた。楽曲名『恩二小のアルバム』この事が2010年6月11日の読売新聞(多摩版／朝刊)にて掲載された。2010年10月2日の『恩方第二小学校コンサート』で楽曲が披露された。同校の児童が、八王子市連合音楽会にて発表。

(3)『中村雨紅』作品の時代を越えたコラボレーション

『夕焼け小焼け』の作詞者である『中村雨紅』作品に、21世紀のアーティストがメロディーを付け、新しい形の童謡の創作を行う。『つばくらめ』『お地蔵さんは知らん顔』など6作品に音楽家寺岡大悟が曲を付けた。

* 2011年9月11日に行われたDAIGOエコロジー村主催、アートイベント『森ecology2011』で、演奏される。

* 2011年11月17日に行われた『寺岡大悟こころの歌・ピアノコンサート』で全曲披露。

夕焼け小焼け、中村雨紅の詞に曲』として、2011年9月18日の毎日新聞(東京版／朝刊)に掲載される。

5.現在進行中の活動

楽曲『絹の道物語』制作

NPO法人日本エコクラブ代表の炭焼三太郎氏が、日本版シルクロードと言われる『絹の道』を舞台に作詞したものに、音楽家寺岡大悟が曲を付けた。この楽曲を、2012年3月3日に、八王子クラッセアツレバーレの生徒が、卒業演奏会にて演奏予定。

6.今後の企画(案)

(1)『童謡コンサート』

様々なジャンルのアーティストが、『童謡』をキーワードにコラボレーションを行うコンサート。

(2)『民話』を基にした童謡・歌の制作。

(3)【童謡・民話】をキーワードとして、全国のコミュニティ同士のネットワーク化。

npo nippon ecoclub